



第3回GPIFファイナンスアワードの実施について

区分	報告	対象範囲	調査研究業務
エグゼクティブサマリー <ul style="list-style-type: none">• 昨年実施した第2回に引き続き、第3回GPIFファイナンスアワードを実施予定• 外部有識者から構成される選考委員会を4月下旬に開催し、表彰式・講演会は7月の下旬に実施予定			
バックグラウンド <ul style="list-style-type: none">• 年金運用の分野で優れた功績をあげつつある若手研究者を表彰し、その功績と社会的意義を広く周知するとともに、優秀な研究者の活動を振興することを通じて、運用理論研究（AI等の新たな活用等を含む）の充実を図り、年金積立金の安全かつ効率的な運用を実現していくことを目的としている		フィードバック期間及び検証方法	
戦略プラン <ul style="list-style-type: none">• 優れた研究者と調査研究テーマの発掘• 学術界との関係性構築		便益及びリスク <ul style="list-style-type: none">• 便益：運用理論研究の充実• リスク：特になし	
		KPI	

第3回 GPIF Finance Awardsの実施について

GPIF ファイナンスアワードについて

- GPIFファイナンスアワードは、年金運用の分野で優れた功績をあげつつある若手研究者を表彰し、その功績と社会的意義を広く周知するとともに、優秀な研究者の活動を振興することを通じて、運用理論研究（AI等の新たな活用等を含む）の充実を図り、年金積立金の安全かつ効率的な運用を実現していくことを目的に開始された。

これまでの受賞者

- 第1回受賞者：沖本 竜義 氏（研究テーマ：国際分散投資によるポートフォリオ運用）
（オーストラリア国立大学クロフォード公共政策大学院准教授、一橋大学大学院国際企業戦略研究科客員准教授）
- 第2回受賞者：野澤 良雄 氏（研究テーマ：社債スプレッドに対する網羅的なアプローチ）
（元・シニアエコノミスト 連邦準備制度理事会（現・香港科技大学ビジネススクール Assistant Professor））

今後のスケジュール

- 2019年2月18日～3月8日
： 推薦受付
- 4月下旬 : 選考委員会を実施
- 5月下旬 : 受賞者公表
- 7月31日 : 表彰式・講演会
（午前中：KKRホテル東京）

（参考）選考委員

- ロバートマートン（ハーバード大学名誉教授）
- ジョシュラーナー（ハーバードBS教授）
- デビッドチェンバース（ケンブリッジ大学BS教授）
- 植田和男（共立女子大学教授）
- 翁百合（（株）日本総合研究所理事長）
- 福田慎一（東京大学大学院教授）
- 米澤康博（早稲田大学大学院教授）

※ 厚生労働省、文部科学省、金融庁からの後援については今後調整